

アビリンピックやまがた（山形県障害者技能競技大会）

〈 ビルクリーニング 〉 公表課題

禁止事項

- 1 競技時間中に他人から指導や助言を受けてはいけません。
- 2 他の選手やスタッフの妨害をしてはいけません。
- 3 競技時間に遅刻、及び競技時間中に許可なく席を離れてはいけません。
- 4 故意に備品や機材等を毀損させてはいけません。
- 5 その他、大会運営や競技実施に支障をきたす恐れがある行為等をしてはいけません。

一般的な注意事項

〈 共通 〉

- 1 課題は、課題1「カーペット床清掃」と課題2「弾性床清掃及び机上清掃」の2課題で、競技コートは、「カーペット床清掃」1コート、「弾性床清掃及び机上清掃」2コートの3コートを使用します。競技の順番は、競技委員が決定します。
- 2 どちらの課題も、作業面積は、16 m² (4×4m)、幅木による区画とし、幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
- 3 作業場所にある机は、移動させないでください。
- 4 2課題とも次の規定時間が定められています。
 - ①課題1 7分 (9分で打ち切りする場合があります。)
 - ②課題2 10分 (12分で打ち切りする場合があります。)
- 5 各課題の作業開始指示は、競技委員が行います。競技者は、挙手または「はじめます」と申告し

てスタートしてください。競技が終了したら、挙手または「終わりました」と申告してください。

また、作業ごとの入退出を行う際には、会釈（軽く挨拶や礼）をしてください。競技中は、上記以外の声は出さないでください。

※ 始めと終わりの申告で声を出すことが困難な場合は、挙手のみで構いません。

6 課題において椅子を机の上にあげる際は、安全に配慮して実施してください。

7 各課題では、支給された資機材以外使用できません。

8 使用した資機材は、競技委員の指示に従って後片付けを行ってください。

9 競技の採点は、作業準備・作業動作（手順）・仕様誤り・作業態度・作業時間の5つの面から審査し、加点方式により行います。

10 競技者は、作業に適した服装をしてください。

かだい
＜課題1 カーペット床清掃＞

- ゆか ざいしつ せんいけい ゆかめん
1 床の材質は、繊維系の床面とします。
- さぎょう そうじき ゆか じょじんさぎょう
2 作業は、掃除機によるカーペット床の除塵作業です。
- ゆか ていど
3 床のごみは、「おがくず」を50ml程度まいたものとします。

かだい だんせいゆかせいそうおよ きじょうせいそう
＜課題2 弾性床清掃及び机上清掃＞

- ゆか ざいしつ えんか けい ちょうじゃく ゆかめん
1 床の材質は、塩化ビニール系の長尺シートの床面とします。
- さぎょう ゆかめん じょじん ふ しよりおよ きじょうふ さぎょう
2 作業は、床面の除塵・拭き・ごみ処理及び机上拭き作業です。
- ほんかだい しょう しきざい しょうもうひん さぎょうよう の ふそく てんけんし
3 本課題で使用する資機材・消耗品は、作業用カートに乗せてありますので、不足がないか点検し
てから使用してください。
しょう
4 モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に適切な長さに競技者自身で調節してください。
え なが ちょうせつ さぎょうまえ てきせつ なが きょうぎしゃじしん ちょうせつ
5 乾式モップ用のクロスは、競技者が作業前に乾式モップヘッドに取り付けてください。
かんしき しょう きょうぎしゃ さぎょうまえ かんしき と つ
6 クロスを装着した乾式モップヘッドは作業カート上部に、モップの柄は作業カートの所定の位置
にそれぞれ競技開始前にセットしてください。
きょうぎかいしまえ
7 床のごみは、「おがくず」を50ml程度まいたものとします。
ゆか ていど

かくかだい りょう ていど しょう ぜんたい かんが きょうぎ
※各課題ともごみの量は50ml程度を使用しますが、コート全体にごみがあるものと考え、競技を

おこな
行ってください。

【資機材一覧】

1. 競技会場に準備されているもの

(1) 課題1

品名	寸法又は規格	数量
真空掃除機	ポット型 リンレイ RD エコ 2型	1台
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
イス	パイプ式折りたたみ	1脚
ごみ箱	角型	1個

(2) 課題2

品名	寸法又は規格	数量
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
作業標示板		1個
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1本
ラージ (モップ房)	260g 白色	1個
小型ぼうき	30 cm幅用	1本
乾式モップヘッド	63 cm	1個
文化ちりとり	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1個
タオル	無地 水拭き用 (青色) 1枚、 無地 から拭き用 (白色) 1枚	2枚
ダスタークロス	69 cm幅の不織布	1枚
ビニール袋	ごみ箱用替袋	1枚
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
イス	パイプ式折りたたみ	1脚
ごみ箱	角型	1個

2. 競技者が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量
作業着 (上・下)		1着
作業帽又は三角巾		1個
作業靴		1足

※持参するものは上記のものに限るが、同一品目のものを予備として持参することは差し支えない。

課題1 カーペット床清掃 (作業時間：7分)

作業仕様 (課題1)

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	<p>・作業に必要な資機材は、すでに会場に準備されている。</p> <p>・真空掃除機には、ウインドと吸込口がセットしてある。</p>	<p>・必要な資機材及び数量は、資機材一覧を参照すること。</p> <p>・資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。</p>	<p>資機材の点検終了後、競技スタッフの指示に従い、所定の位置に立つ。</p>
競技開始の挨拶	<p>競技委員の始めの合図で所定の位置に立ち「始めます」と挨拶を行い、競技を開始する。</p>	<p>片手を挙げ、一礼をする。</p>	<p>作業開始を申告する。</p>
作業準備	<p>真空掃除機を保管場所から作業場所の近くへ移動し、コードを外し、プラグをコンセントに差し込み、始動点検を行う。</p>	<p>吸込口に手をあて、風量があるか点検する。</p>	
入室の挨拶	<p>入口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。</p>	<p>「失礼します」と一礼して入室する。</p>	
除塵作業 (真空掃除機)	<p>①真空掃除機を使用し、外から入口を除塵し、入室する。</p> <p>②室内での作業手順は、カーペット床作業手順 (12 ページ) のとおり行う。</p> <p>③ごみ箱を持ち上げて除塵する。</p> <p>④前進しながら除塵する。</p> <p>⑤作業が終了したら掃除機を</p>	<p>・入口のごみを踏まないように広めに足場を確保する。</p> <p>・吸込口を床に強く押し付けない。</p> <p>・イスを手前に引き出し、机の下の除塵を行い、元に戻す。</p> <p>・掃除機本体は、手で持って移動する。</p>	<p>ごみは、おがくずを 50ml 程度均等にまいてある。</p> <p>掃除機のコードを持って抜かない。</p>

	しつない だ 室内より出してプラグを抜く。	も ぬ ・プラグを持って抜く。	
てんけん 点検	ゆびさ また もくしてんけん おこな 指差し又は目視点検を行う。	しきざい もど わす と 資機材の戻し忘れ、ごみの取 のこ り残しがないか点検する。 てんけん	こえ だ 声を出さない こと。
たいしつ あいさつ 退室の挨拶	でぐち しつない む たいしつ 出口にて、室内に向かって退室の あいさつ おこな 挨拶を行う。	しつれい どう いちれい 「失礼しました」等と一礼し たいしつ て退室する。	
しきざい かたづ 資機材の片付け	しんくうそうじき ま ほかん 真空掃除機のコードを巻き、保管 ばしょ もど 場所に戻す。		
しゅうりょう あいさつ 終了の挨拶	しよてい いち た しゅうりょう 所定の位置に立ち、終了の あいさつ おこな 挨拶を行う。	お どう いし 「終わりました」等の意思 ひょうじ おこな 表示を行う。	さぎょうしゅうりょう 作業終了を しんこく 申告する。

課題2 弾性床清掃及び机上清掃 (作業時間：10分)

作業仕様 (課題2-1)

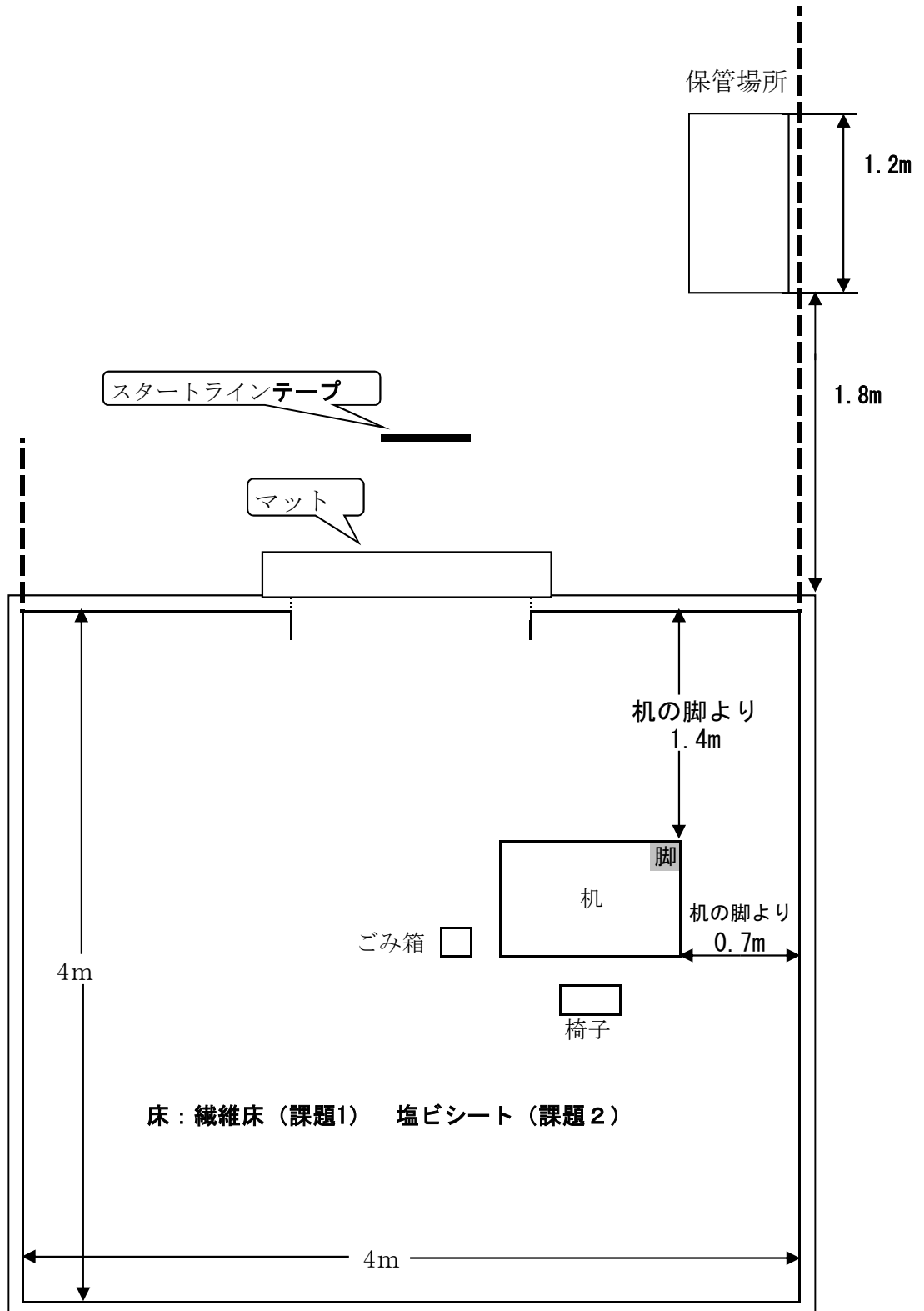
作業工程	作業方法	ほそくじこう 補足事項	びこう 備考
しきざい じゅんび 資機材の準備	さぎょう ひつよう しきざい ・作業に必要な資機材 (タ ール・モップ等) は、すでに作業 カート (以下カート) 上部に 準備されている。 ① ワンタッチモップ柄 (以下柄) の長さを調整し、 カートの所定の場所にセット する。 ② ダスタークロスを乾式モッ プヘッド (以下ヘッド) に 装着し、カート上部に置く。	ひつよう しきざい およ ・必要な資機材及び 数量は、資機材一覧を 参照すること。 ・資機材が過不足無く 準備されているか点検 し、異常があれば申し 出る。	しきざい てんけん 資機材の点検 しゅうりようご きょうぎ 終了後、競技スタッ フの指示に従い、 所定の位置に立つ。
きょうぎかいし あいさつ 競技開始の挨拶	しよてい いち た きょうぎいん 所定の位置に立ち、競技委員の 始めの合図で「始めます」と 挨拶を行い、競技を開始する。	かたて あ いちれい 片手を挙げ、一礼する。	きょうぎかいし しんこく 作業開始を申告する。
さぎょうじゅんび 作業準備	車を保管場所から作業 場所の近くへ移動し、作業 標示板を立てる。		
にゅうしつ あいさつ 入室の挨拶	入り口にて、室内に向かっ て入室の挨拶を行う。	しつれい いちれい 「失礼します」と、一礼 して入室する。	
あ しより イス上げとごみ処理 (1) イスを上げる (2) ごみの回収 (3) ごみ袋のセット	さぎょうまえ きじょう あ ① 作業前にイスを机上に上げ る。 ② ごみ箱にセットされている ビニール袋を回収する。 ③ 回収したビニール袋をか	つくえ うご ・机は動かさない。 ・イスは机からはみ出 さないように正しくの せる。 ・ビニール袋を正しく	

	<p>一トの袋の中に入れる。</p> <p>④ビニール袋の替袋を取り出し、ごみ箱にセットする。</p> <p>⑤ごみ箱を机の上に上げる。</p>	<p>セットする。</p> <p>・ごみ箱は机からはみ出さないように正しくのせる。</p>	
<p>じょじんさぎょう 除塵作業</p> <p>かんしき (乾式モップ)</p>	<p>①ダスタークロスを装着した乾式モップヘッドは、入口の養生マットの上でモップの柄に取り付ける。</p> <p>②乾式モップで、外から入口を除塵し、入室する。</p> <p>③室内での作業手順は、乾式モップ作業手順（13 ページ）のとおり行う。</p> <p>④ごみは、前進しながら出口に向かって1箇所に集める。</p> <p>⑤ヘッドを柄から外す。</p> <p>⑥使用済みのダスタークロス をヘッドから外し、カート の袋の中に収納する。</p> <p>⑦柄とヘッドをカートに戻す。</p> <p>⑧小型ぼうきと文化ちりとり を使用し、集めたごみを回収する。</p> <p>⑨ごみの取り残しがないか点検する。</p> <p>⑩小型ぼうき、文化ちりとりをカートに戻す。</p>	<p>・柄の先端には親指を添える。</p> <p>・ヘッドの辺は広い方を先行させる。</p> <p>・入口のごみを踏まないように足場を確保する。</p> <p>・ヘッドは、床から離さない。</p> <p>・使用済みダスタークロスは、カート の袋の中に入れる。</p> <p>・ごみの取り残しがある場合は、小型ぼうきと文化ちりとりを使用し回収する。</p> <p>・ヘッドは、カート上部に、スポンジ面を上にして、邪魔にならないように置く。</p>	<p>ごみは、おがくずを50ml程度均等にまいてある。</p> <p>点検の際に声をださないこと。</p>

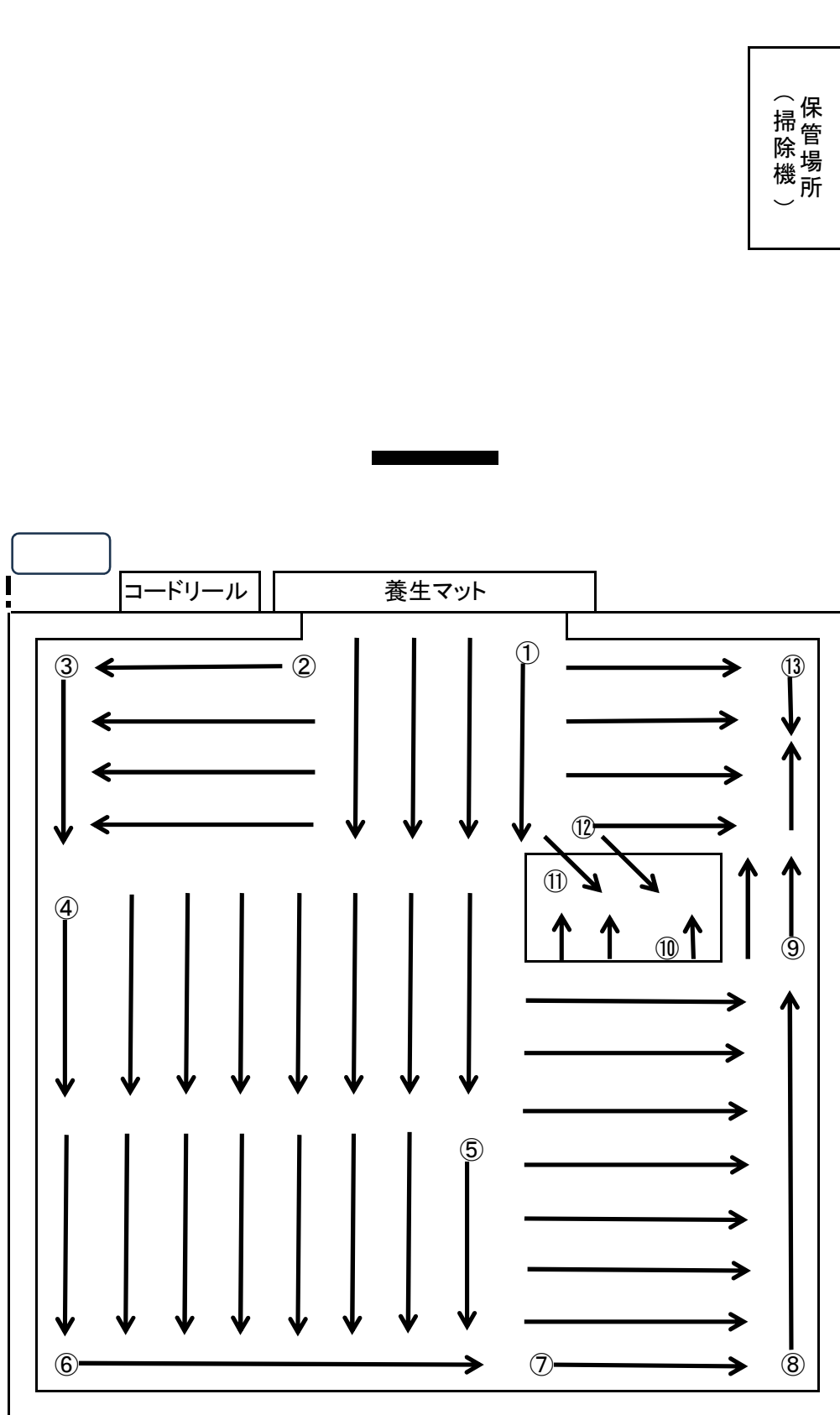
さぎょうこうてい 作業工程	さぎょうほうほう 作業方法	ほそくじこう 補足事項	びこう 備考
みずふ さぎょう 水拭き作業 (モップ)	<p>①コート全体を拭く。</p> <p>②室内での作業手順は、 水拭きモップ作業手順 (14 ページ) のとおりに行う。</p> <p>③コーナー周りと机の 足元は、房糸に手を添え て拭く。</p> <p>④モップは適宜裏返し、 モップ全体を使って拭 く。</p> <p>⑤モップは横拭きとし、 後退しながら拭く。</p>	<p>・拭き残し、拭きむら のないようにする。</p> <p>・柄の先端には親指を 添える。</p> <p>・房糸が幅木、机の 脚部に触れないように する。</p> <p>・拭いたところを踏まな いようにする。</p>	
ぼこ ごみ箱とイス下ろし	あんぜん おと た 安全に音を立てないように 下ろす。	あし うえ お 足の上に落とさない ように注意する。	
きじょうふ 机上拭き	<p>①青色のタオルを八折に して持つ。</p> <p>②机の上を青色のタオル で水拭きした後に、白色 のタオルでから拭きを行 う。</p>	<p>・タオルが汚れたら、 きれいな面を出して拭 く。</p> <p>・机の縁を含めて、 四隅から中央へと拭 く。</p> <p>・横拭き・縦拭きを行 う。</p>	
てんけん 点検	ゆびさ また もくしてんけん おこな 指差し又は目視点検を行 う。	しきざい もど わす ・資機材の戻し忘れ、 ごみの取り残しなどの	てんけん さい こえ 点検の際に声をだ さないこと。

		てんけん おこな 点検を行う。	
たいしつ あいさつ 退室の挨拶	でぐち しつない む 出口にて、室内に向かって たいしつ あいさつ おこな 退室の挨拶を行う。	しつれい 「失礼しました」と いちれい たいしつ 一礼して退室する。	
しきざい かたづ 資機材の片付け	さぎょう ひょうじばん 作業 標示板 をカ ー ト に しゅうのう ほかんばしょ 収納し、カ ー ト を保管場所 もど に戻す。		
しゅうりょう あいさつ 終了の挨拶	しよてい いち た しゅうりょう 所定の位置に立ち、終了 あいさつ おこな の挨拶を行う。	お どう 「終わりました」等の い しひょうじ おこな 意思表示を行う。	さぎょう しゅうりょう しんこく 作業 終了 を申告 する。

標準配置図(モデル)

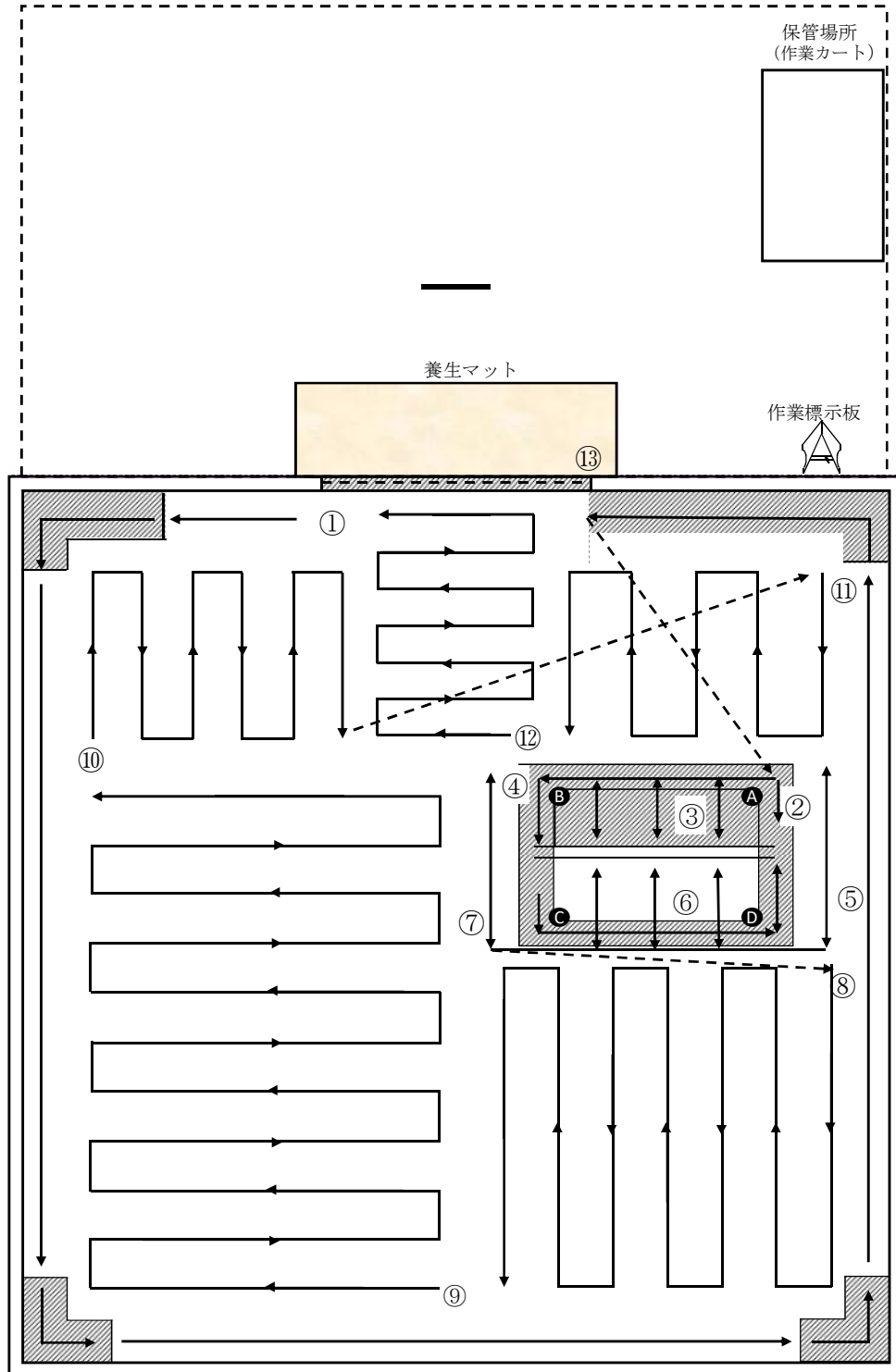


カーペット床作業手順



注: 作業の進行は①~⑬、吸引回数を入れたものではありません。

水拭きモップ作業手順

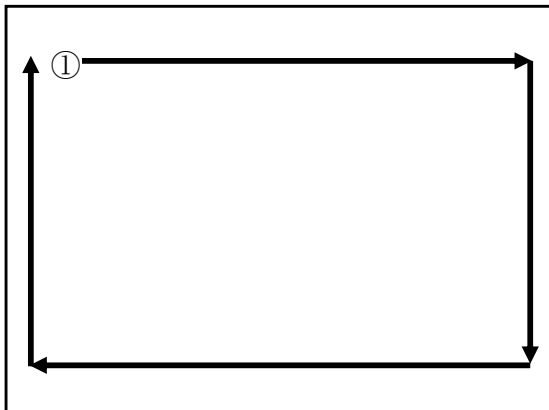


注：  印は手を添える箇所を示す。 水拭き回数を入れたものではありません。

- ① 幅木側を1周すること。(コーナーは手を添えます)
- ② Aの脚周りを手を添えて拭く
- ③ 机の下を手を添えて拭く
- ④ B脚、C脚、D脚の順に脚回りを手を添えて拭く
- ⑤ 机の脇(壁側)を拭く
- ⑥ 机の下を手を添えずに拭く
- ⑦ 机の脇(入口側)を拭く
- ⑧～⑫ 拭きムラがないよう適切な間隔で拭く
- ⑬ 入口は手を添えて拭く

机上拭き作業手順

注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で持つ人の場合は、左右を逆とした方法でも構いません。



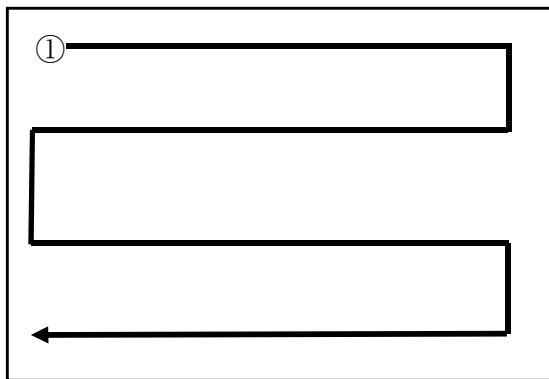
縁(机の4辺)の拭き方

※.選手は審査員に正対し動線図に示された場所に立つ(縦拭き・横拭きも同様)

①四角く、縁にそって拭きます。(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



作業者の立位置



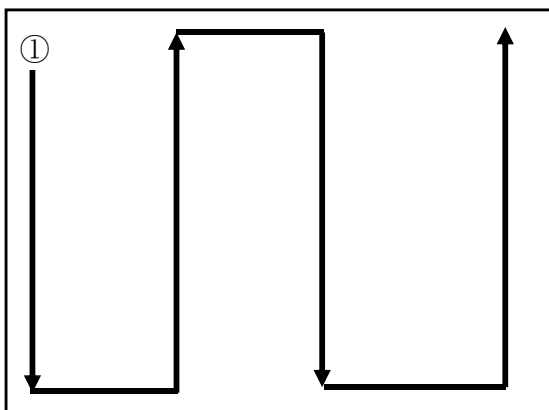
中央の拭き方

②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)

※.適宜タオルの面を変えながら拭く。



作業者の立位置



③縦拭き：拭き残しがないように中面を上下に拭きます。(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、上下の動きにより往復回数は、異なります。)

④から拭きも同じように行います。

※.適宜タオルの面を変えながら拭く。



作業者の立位置